

3

次の文章は、小泉八雲(注1)が英語で書いた怪談「貉」の翻訳の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらすじ」 東京の赤坂にある紀伊国坂は、昔、日が暮れた後は人通りが少なく寂しい場所で、人を化かす「貉」という生き物が出没すると言われていた。そのため、人々は日没後、一人でこの坂をのぼるよりも、回り道をしたものだった。ある日の夜、急ぎ足で紀伊国坂をのぼっていた一人の男が、お濠ほりのそばで若い女がうずくまって泣いていることに気付いた。男は心配して若い女に声をかけたが、返事はない。

(小泉八雲「貉」による。)

(小泉八雲「貉」による。)

(小泉八雲「貉」による。)

(注1) 小泉八雲||明治期の小説家、英文学者。旧名ラフカディオ・ハーン。

(注2) お女中||当時の女性の敬称。

(注3) 突慳貪||態度や言葉遣いが冷淡でとげとげしい様子。

(注4) 追剥ぎ||通行人をおどして衣類や金品などを奪うこと。また、それをする人。

一 ―線部「お泣きなさるな」は、原文では「Do not cry」（「泣いてはいけない」の意味）と書かれています。この部分を「お泣きなさるな」と翻訳したことで、どのようなことを伝える効果がありますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 面倒なことに関わりたくないと思っている、男の冷淡な人柄を伝える効果。
- 2 寂しい場所で人に話しかけられたため、男がおびえている様子を伝える効果。
- 3 若い女の身勝手な要求に対して、男が腹を立てている様子を伝える効果。
- 4 若い女を助けてやりたいと思っている、男の優しい人柄を伝える効果。

二 本文中の〔 〕で囲まれた部分の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 暗闇の中で見付けた光が小さくなっていく情景と、男の希望が失われていく様子を重ねて書いている。
- 2 暗闇の中で見付けた光が大きくなっていく情景と、男が懸命に救いを求める様子を重ねて書いている。
- 3 暗闇の中で見付けた光が小さくなっていく情景と、男の緊張感が徐々に高まる様子を重ねて書いている。
- 4 暗闇の中で見付けた光が大きくなっていく情景と、男が必死に相手に立ち向かう様子を重ねて書いている。

